

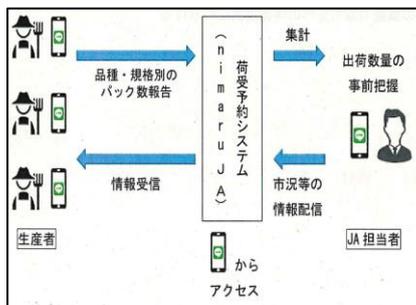
イチゴ集出荷作業の効率化に向けて（球磨）

球磨管内にはＪＡくまが運営するイチゴのパックセンター（以下、ＰＣ）が３か所あり、生産者は調整出荷をＰＣに委託することで労力を軽減し、その分を管理作業に充てることで、収量・品質の向上を図っています。ところが、近年、ＰＣに委託する生産者が増加傾向にあるため、ＰＣの作業効率化が課題となっています。また、生産者からは出荷伝票のペーパーレス化が要望されているところです。

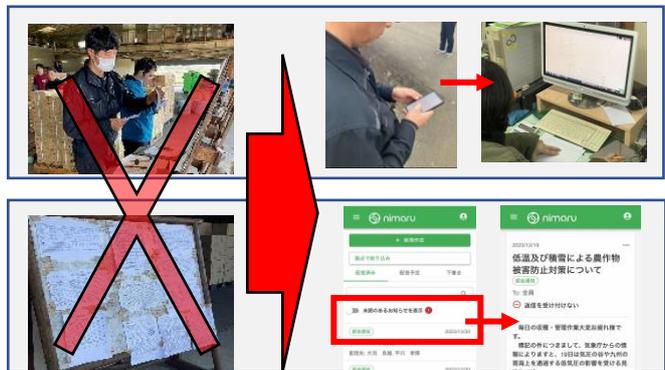
そのため、農業普及・振興課では、イチゴ集出荷作業の効率化等を図るため、１２月から荷受予約システム「nimaruJA」の現地実証を行っています。「nimaruJA」とは、株式会社kikitoriが運営するサービスで、生産者がスマホ等のアプリで出荷予定量をＪＡに報告することができたり、システム内の情報配信機能を活用して、病害虫や気象などの営農情報を生産者へ迅速に届けたりすること等ができます。

この実証により、ＪＡ担当者からは「電話やＦＡＸのやり取りが少なくなり、出荷数量の取りまとめ等が簡単になった。今後、有利販売に繋げていきたい。」、生産者からは「出荷実績や市況情報がスマホから確認できるようになり、とても便利である」などの意見があっています。

今後も、荷受予約システムによる作業の効率化を検証することで、ＰＣを核にした生産体制の強化を図っていきます。



「nimaruJA」の仕組み（イメージ）



効率化の取組み内容
（上：出荷連絡、下：情報配信機能）

種類：②競争力のある農産物の生産体制の確立＜生産体制づくり＞

関連する普及課題名： 関連する普及課題無し

HP掲載可否：可

連絡先：県南広域本部球磨地域振興局 農業普及・振興課
園芸産地づくり支援班 上村 英

